

平成30年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 H31年3 月末現在

	発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	災害の状況
1	30	1	10時台	建築 工 事 業	10 人 未 満	工場増設に伴う配管設置工事において、屋内で土間コンクリートをはつるため内燃機関付きエンジンカッターを使用して土間コンクリートに切り込みを入れる作業中に被災した。 [一酸化炭素中毒:被災者3名(休業4日以上2名、不休1名)]
2	30	1	10時台	清掃 ・ と 畜 業	10 人 未 満	木造2階建て賃貸住宅のリフォームに伴い請け負った室内清掃業務を行うため、被災者は1名で小型発電機を室内に持込み作業中に被災した。 [一酸化炭素中毒:被災者1名(死亡)]
3	30	1	9時台	漁 業	10 人 未 満	午前7時から屋内作業場の1階において、労働者8名で漁網の解体作業を行っていた。午前9時半から20分程、8名全員が煙突付き廃油ストーブの周りで休憩していたところ、労働者8名のうち6名が頭痛、目眩等を訴えたもの。 [一酸化炭素中毒:被災者6名(不休のみ)]
4	30	2	15時台	教育 ・ 研 究 業	50 人 以 上 100 人 未 満	被災者が牛の細胞採取器具を滅菌後、所定滅菌時間が終了したと思い滅菌器内部の残圧を確認せずに扉を開けようとした。通常の手順で開かなかったので電源をリセットし力を入れ扉を開けた際、ガス化したエチレンオキシドが漏洩し暴露。 [エチレンオキシド中毒:被災者1名(休業4日未満)]
5	30	2	19時台	飲 食 店	10 人 未 満	居酒屋の営業中に店内で木炭を使用して調理を行っていたところ、一酸化炭素中毒となったもの。店舗の換気装置は故障しており稼働していなかった。 [一酸化炭素中毒:被災者1名(休業4日未満)]
6	30	3	12時台	土 木 工 事 業	10 人 以 上 30 人 未 満	被災者2名は、昼休みの午後0時から石油ストーブの電源を取るため、休憩室内(プレハブ平屋建)に小型発電機(内燃機関式)を持ち込み、稼働させ昼食・休憩中に被災した。 [一酸化炭素中毒:被災者2名(休業4日未満)]
7	30	3	16時台	食 料 品 製 造 業	30 人 以 上 50 人 未 満	被災者は、消毒用の塩化水素と次亜塩素酸ナトリウムを二種類のタンク(各最大110L)に補充した後、こぼれていた液体を雑巾で拭き取り作業中に被災した。 [塩素中毒:被災者1名(休業4日未満)]
8	30	6	12時台	清掃 ・ と 畜 業	50 人 以 上	産業廃棄物処理場の建築廃棄物等の屋外保管場所に堆積していた廃棄物から出火しているのを発見し、5名の労働者が消火作業中に2名が煙を吸い込み被災した。(1名休業1日、1名不休) [一酸化炭素中毒:被災者2名(休業4日未満1名、不休1名)]

平成30年 有害物質による急性中毒等発生状況

	発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況			
	9	30	6	20時台	食料品製造業 100人以上	<p>米の炊飯から冷却までを行うライン付近で労働者7名が体調を崩し、横になっているのを発見された。ライン付近のCO濃度は500ppm以上。換気設備の不具合でガス炊飯器の燃焼ガスが炊飯室及び隣の冷却室まで流れて被災した。(推定)</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者7名(休業4日以上5名、休業4日未満1名、不休1名)]</p>			
	10	30	8	14時台	パルプ・紙製造業 100人以上	<p>屋外タンクから屋内貯槽タンクまで送給しているパルプの漂白剤(二酸化塩素水)の配管に、梁から剥がれ落ちたコンクリート片(180×180×100)が直撃し、同配管に穴が開き二酸化塩素水が漏れ、建屋内にいた作業員12名が被災した。</p> <p>[二酸化塩素中毒:被災者12名(休業4日以上2名、休業4日未満1名、不休9名)]</p>			
	11	30	9	11時台	その他の事業 30人以上 50人未満	<p>低温貯蔵倉庫において、被災者と同僚の2名がフォークリフト(最大荷重1.5トン、ガソリン・LPG併用)を使用し、玄米(40袋、重量約1.2トン)のはい積み作業中、フォークリフトの横で誘導作業中の被災者が一酸化炭素中毒となった。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1名(休業4日以上)]</p>			
	12	30	10	19時台	土木工事業 10人以上 30人未満	<p>ニューマチックケーソン工法で橋脚建設箇所の掘削作業中。被災者は沈下掘削後の作業室内(最大圧力0.196MPa)で清掃等作業(作業時間194分)、気こう室で減圧(91分)を行い、減圧終了80分後に嘔吐等し減圧症と診断された。</p> <p>[潜函病:被災者1名(休業4日未満)]</p>			
	13	30	10	17時台	港湾運送業 100人以上	<p>被災者は、フェリーターミナルに停泊中の船内で清掃作業中、害虫駆除業者が作業している付近から薬剤(プロペタンホス)の臭いがしてめまい等を感じ、帰宅後に意識が混濁し症状が悪化、有機リン中毒と診断された。</p> <p>[有機リン中毒:被災者1名(休業4日以上)]</p>			
	14	30	10	9時台	食料品製造業 30人以上 50人未満	<p>豚の胎盤洗浄用の殺菌水を溜めた桶から塩素ガスが発生し、8名が喉と目に痛みを訴えた。殺菌水は次亜塩素酸ナトリウム、希塩酸及び水を混合したもので生成装置の不具合により、希塩酸の混合割合が増え塩素ガスが発生した。</p> <p>[塩素中毒:被災者8名(不休)]</p>			
合計	発生件数		14	内訳	<p>一酸化炭素 8件 塩素 2件 減圧症 1件 エチレンオキシド 1件 二酸化塩素 1件 有機リン 1件</p>				
	被災者数		47	内訳	<p>死亡~ 1名 休業4日以上~ 11名 休業4日未満~ 9名 不休 26名</p>				